

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障がい児発達支援事業所 ぽのぼの		公表日		令和7年2月20日	
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	意見	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	1	年齢、目的に合わせて部屋の使い方を提示し支援を行なっている	活動を分ければ
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	0	定員での職員配置、加配加算での職員配置は出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	1	日常生活動作の動線を確保し、子どもに伝える時に分かりやすい環境を構築出来ている。 バリアフリー化はある程度出来ている	日々改良していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	2	毎日の清掃は心がけていると共に子どもたちにも片付けの支援を行ない、生活空間を清潔に保っている	日々清掃を心がけます 清掃など心がけていきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	2	目的の応じて部屋を分ける事が出来ている。またパニック時の対応や相談等個別に必要な部屋が提供出来ている。	あまり部屋なし ある部屋で対応 空いている部屋は少ないですが、使えます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	0	ミーティングの時間を設けて、各自療育目的を明確にしながら活動を実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0	保護者さんの意見を大切にしながら業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0	ミーティング、職員会等ですり合わせをしながら業務改善を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	0	まだ第三者評価を受けていないので、受けたいと思っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	0	外部研修の参加園内研修等の実施を行い職員スキルの向上に努めている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	0	西予総合福祉会のホームページにて掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	8	0	1	個別支援計画変更時にアセスメントの更新も行っている。またミーティング等でアセスメントの確認、変更を共通理解として把握している。	アセスメントの取り方について、従来のやり方でもいいが、更に支援の実践や家族支援、方法の明確化につながるようになってきたら考える
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	0	各担当が個別支援計画案を作成し、それを元に個別支援計画の作成を行なっている。	
	14	放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	1	ミーティング内で計画に沿った療育プログラムを確認している	意識的にやりたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	2	アセスメントシートを元にアセスメントを作成している。	インフォーマルなアセスメントの共有は日々できている印象であるが、フォーマルなアセスメントの共有においては曖昧なところもある
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービス提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項	9	0	0	ガイドラインの存在を各職員に知らせ、ガイドラインを元に療育を行なっている。年度初めにガイドラインの読み合わせを行なっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	0	職員会、ミーティングで実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	1	子どもの発達に合わせたプログラムを実施していけるようにしている	日々見直しを心がけている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	0	子どもの発達課題に合わせて、生活の中で集団の療育、個別の療育とつなげて支援を行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	1	午後にミーティングを行い、その中でその日の活動プログラムの確認や送迎の確認、注意事項等のすり合わせを行なっている。	あまり出来ない時もあるので、心がけていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	3	時差出勤の為、放課後等サービス後のミーティングに関しては実質不可能なのでおこなっていない。	夕方は時間がなく翌日等に行えている できない日もあるので、次の日にも行えるようにしていきたい 気になる点があれば話し合う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	1	療育が終わった後に各担当が記録を取る時間を設けている	記録はとっているが、それに基づいた検証はすることが少ない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	0	ミーティングや振り返り時にモニタリングを行なっている	
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	2	活動を行なう上で4つの基本活動を意識しながら活動を何をするかを話し合って決めている	勉強中 確認します
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	2	子どもの選択を大切にし、活動、遊び等で選択できる機会を設け、子どもの意志に従って活動することもある	心がけている 勉強中です
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	0	基本的に児童発達支援管理責任者か、チームリーダーが参加するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	0	リハビリ等の情報は保護者さんから伝えてもらっているのか、また現状の把握に努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	0	学校担当者と連携を取りながら、子どもの学校での様子、課題等共通理解として認識し、その都度確認し合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	0	必要とあれば連絡が取れるつながりはある	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	0	相談支援事業所の依頼で卒業後の事業所さんとのカンファレンスや情報提供は行なっている	

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	2	地域に児童発達支援センターがないのでおこなっていない	地域にセンターがない 分らない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	1	年1回の交流会を検討している。 コロナ禍以降実施は出来ていない。	少なくなりました。今年度はなかったです
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	1	自立支援協議会からの参加要望が来ないので参加したことがない	参加したいが、メンバーに入ってなく協議会の開催も少ない
	34	日話からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	0	お迎え時口頭でお話したり、連絡ノートにてお知らせをしている。また保護者の方ともよく相談させてもらっている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	0	特におこなっていない。希望があれば実施も考える。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	0	契約時に説明を行っている。また園内に掲示しいつでも見れるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	0	個人懇談を設けて保護者さんの意見を聞く機会を作っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	0	懇談時に説明を行い、同意を頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	0	保護者さんとのコミュニケーションを図りながら随時相談に応じるようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	3	1	父母の会等の設置はないので、希望があれば設置したいと思う。兄弟等の交流の機会が必要であれば企画していきたい	あまり
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0	苦情に関しては迅速に対処できるように組織立てて対応している。またあった苦情に関しては広報紙にてお知らせしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0	西予総合福祉会のHP内に日々の活動のブログを不定期で掲載している	
	43	個人情報取扱に十分留意しているか。	9	0	0	基本的に事務所の鍵付きロッカーに保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	0	その人にあった伝達方法で伝達している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	1	園を地域に開放し、近所のお年寄り等がお花見をしたり、地域イベントに駐車場を開放している	あまり機会がない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	0	各マニュアルを作成し、園内に掲示することでご家族等に周知を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	0	BCPを作成し訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	2	保護者面談時に聞き取りを行ないアセスメント内に記載している。また、職員に周知し、事故の内容に配慮を行っている。	予防接種の状況把握はしていない 確認してます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	2	保護者面談時に聞き取りを行ないアセスメント内に記載している。また、職員に周知し、事故の内容に配慮を行っている。	対象児なし いません
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	0	西予総合福祉会HPにて安全計画を公開している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	0	西予総合福祉会HPにて安全計画を公開している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0	リスク委員が園内のヒヤリハットを取りまとめ事故防止の提案をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	0	年1回以上、虐待防止委員会の虐待防止研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	0	身体拘束については契約時に説明を行い同意を頂いている。身体拘束が必要な生徒については個別支援計画に記載している。	